

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～G組

教科担当者：（A組：谷合）（B組：森田）（E組：谷合）（F組：谷合）（G組：森田）

使用教科書：（高等学校 言語文化（数研出版））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		読	書	誌						
1 学期	『兎のそら寝』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を読み味わい、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・本文を読み味わい、内容を理解する。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1	
	『ある人、弓射ることを習ふに』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を読み味わい、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・本文を読み味わい、内容を理解する。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。	○	○	○	10
定期考査						○	○		1	
2 学期	・芥川龍之介 『羅生門』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の道を切り開いた自身の体験談から筆者の仕事に対する考え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・本文の内容を読み味わい、言葉にできる。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。 ・本文中の語句を利用して作文することができる。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1	
	・三浦しをん 『舟を編む』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「美しさ」を知ることが心の世界の広がりを保証することであるという主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・本文の内容を読み味わい、言葉にできる。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。 ・本文中の語句を利用して作文することができる。	○	○	○	10
定期考査						○	○		1	
3 学期	『狐借虎威』 【知識及び技能】 漢文の基本的な読み方を修得する。また、使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容を理解し、何が読み取れるかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について深く考え、言葉にすることができる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・漢文の基本的な読み方を修得している。 ・本文中の語句の意味を理解している。 ・本文の内容について考えたことを言葉にできる。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		1	

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者： 全クラス： 尾見 俊太郎

使用教科書： （ 高校数学Ⅱ ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 いろいろな関数、複素数と方程式について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察する能力を培う。また問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
方程式・不等式、2次関数及び図形と計量における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につける。	数学的な活動を通して、方程式と不等式、2次関数及び図形と計量における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	三角関数 単位円を使って三角関数の基本的な性質を理解させる。三角比の基本的な性質が三角関数でも成り立つことを認識させる。 三角関数のグラフのもつ周期性や対称性等の特徴に気づき、グラフを書くことが出来るようにさせる。 三角方程式や不等式を解くことが出来るようにさせる。	・指導事項 ①一般角 ②三角関数 ③三角関数の相互関係 ④三角関数の性質 ⑤三角関数のグラフ	【知識・技能】 ・一般角の概念を認識できる。 ・三角関数の性質や相互関係に関心をもち、図や式を用いて調べようとする。 ・三角関数のグラフについて関心をもち、調べようとする。 【思考・判断・表現】 ・三角関数の周期や相互関係を定義や基本性質を活用して調べることができる。 ・三角関数の性質や相互関係を用いて、一般角の三角関数の値を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角関数の性質や辺と角の相互関係に関心をもち、それらを調べようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	複素数と2次方程式 2次方程式の解の個数が、実数と複素数のように範囲によって違うことに興味を持たせる。 解が判別式の符号によって判別されることを理解させる。 2次方程式の解と係数の関係に興味を持ち、理解する事によって多方面から考えさせる。	・指導事項 ①複素数 ②2次方程式 ③解と係数の関係	【知識・技能】 ・複素数の意味と演算法則を理解している。 ・複素数の範囲では、代数方程式が常に解をもつことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・数の範囲を複素数まで拡張する必要性と意味を理解できる。 ・解と係数の関係や判別式の意味を理解し、それらを具体的な事象の考察に活用できる。 ・虚数の意味を理解し、複素数の計算に習熟している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数を複素数まで拡張する考え方やその過程に関心をもち、複素数の基本的な性質を調べようとする。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
2 学期	指数関数 自然数で定義されていた指数法則が、整数の範囲で使えることを理解させ、計算が出来るようにさせる。 累乗根の意味が理解でき計算が出来るようにさせる。 整数で定義されていた指数法則が、有理数の範囲でも使えることを理解させ、計算が出来るようにさせる。 指数関数のグラフの特徴と性質を認識し、グラフを使って方程式や不等式を解くことが出来るようにさせる。	・指導事項 ①指数の拡張（1） ②累乗根 ③指数の拡張（2） ④指数関数のグラフ	【知識・技能】 ・拡張された指数の意味や指数法則を用いて、指数計算ができる。 ・指数関数のグラフの増加・減少の特徴を適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 ・指数を自然数から、整数や有理数に拡張する必要性と意味を認識し、指数法則や指数関数の特徴を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・指数を自然数から、整数や有理数に拡張する過程に関心をもち、指数を具体的な事象に活用しようとする。 ・指数関数のグラフに関心をもち、その性質を調べようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	対数関数 対数とは何かを認識し、対数と指数の関係や対数の基本的な性質を理解させる。 対数関数のグラフの特徴と性質を認識し、グラフを使って方程式や不等	・指導事項 ①対数 ②対数の性質 ③対数関数のグラフ ④常用対数	【知識・技能】 ・対数の性質や底の変換公式の活用方法を理解している。 ・大きな数の桁数を調べるなど常用対数を活用する考え方を身に付けている。				

<p>式を解くことが出来るようにさせる。 常用対数についての理解を深め、自然数の桁数を、常用対数表を使って求めることが出来るようにさせる。</p>		<p>【思考・判断・表現】 ・常用対数を活用して、桁数を求めることができる。 ・対数を含む方程式・不等式を解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・指数と対数の関係に関心をもち、対数の基本性質を調べようとする。 ・対数のグラフに関心をもち、その性質や指数関数のグラフとの位置関係を調べようとする。</p>	○	○	○	12
<p>定期考査</p>			○	○		
<p>3 学 期</p> <p>高次方程式</p> <p>整式の除法では、商や余りを求めることが出来るようにする。また、整式と、商、余りの関係を理解させる。 整式の除法において1次式で割った時の余りは除法によらず得られることを理解させる。 公式・複2次式・因数定理を使った因数分解による高次方程式の開放を理解させる。</p>	<p>・指導事項 ①整式の除法 ②剰余の定理と因数定理 ③高次方程式</p>	<p>【知識・技能】 ・整式を1次式で割ったときの余りを剰余の定理を活用して求めることができる。 ・除算を行わなくとも剰余の定理を用いて余りを求めることができることを理解している。 ・3次以上の整式の因数分解や高次方程式の解法に因数定理が活用できることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・剰余の定理を導く考え方を理解でき、その考え方を基にして因数定理を導くことが理解できる。 ・3次以上の整式の因数分解や高次方程式の解法に因数定理を活用できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・剰余の定理や因数定理に関心をもち、因数分解や高次方程式の解法を積極的に活用しようとする。</p>	○	○	○	9
<p>定期考査</p>			○	○		

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～G組

教科担当者：（A組：鈴木）（B組：鈴木）（E組：鈴木）（F組：鈴木）（G組：鈴木）

使用教科書：（高校物理基礎（実教出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物体の運動とさまざまなエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けるとともに、観察や実験に関する基本操作やデータ解析を習得し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けてい	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 物体の運動</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 速度や相対速度、合成速度などの運動の表し方を理解する。 直線運動を変位、速度などの運動の表し方を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ピースビなどの実験器具を正しく使用して速度を測定し、データを解析することができるようになる。 x-tグラフやv-tグラフを用いて、運動を表現する方法を理解する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体の運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本単位・組立単位の種類や意味について理解させる。 速さと速度の違いについてスカラー量とベクトル量から理解させる。 距離、速さ、時間の関係性を理解させ、各物理量を算出させる。 相対速度と合成速度を理解させ、算出させる。 等速直線運動をx-tグラフやv-tグラフで表現させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 速度や相対速度、合成速度を求めることができる。 直線運動を変位、速度などの物理量を使って表すことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験器具を正しく使用して速度を測定し、データを解析することができる。 x-tグラフやv-tグラフを用いて、運動を表現したり読み取ったりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体の運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。 	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
<p>1 学期</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 加速度の考え方や求め方を理解する。 等加速度運動の式を用いて、時間・変位・速度などの表し方を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験器具を正しく使用して加速度を測定し、データを解析することができるようになる。 x-tグラフやv-tグラフを用いて、等加速度運動を表現する方法を理解する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体の運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 速度が変化する様子を表す量として加速度を用いることを理解させる。 加速度の符号について、ベクトル量であることを踏まえ理解させる。 等加速度直線運動をx-tグラフやv-tグラフを含め理解させる。 等加速度直線運動を3本の式を使って表すことができることを理解させるとともに、具体的な状況で各物理量を算出させる。 自由落下運動や鉛直投げ下ろし運動の「時間」「速度」「変位」の関係性を理解させる。 水平投射運動や斜方投射運動について定性的に理解させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 加速度の考え方を理解し、求めることができる。 等加速度運動の式を用いて、時間・変位・速度をそれぞれ求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験器具を正しく使用して加速度を測定し、データを解析することができる。 x-tグラフやv-tグラフを用いて、等加速度運動を表現したり読み取ったりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体の運動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 提出期限内に内容が十分な提出物を提出している。 	○	○	○	13
定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科：保健体育 科目：保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組～G組

教科担当者：武富・本多

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育701）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】生涯を通じた社会生活における健康・安全について理解し、知識を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯を通じた自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考、判断し他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】継続した運動実践、健康の保持増進と体力の向上、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、知識を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 国民の健康課題への理解 【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題への思考や判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「ライフステージと健康」 「思春期と健康」 「性意識と性行動の選択」 「妊娠・出産と健康」 「避妊法と人工妊娠中絶」	【知識・技能】 国民の健康課題について理解している 【思考・判断・表現】 国民の健康課題について思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 国民の健康課題について主体的に学んでいる	○	○	○	5
	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 健康の保持増進への理解 【思考力、判断力、表現力等】 健康の保持増進への思考や判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「結婚生活と健康」 「中高年期と健康」 「働くことと健康」 「労働災害と健康」 「健康的な職業生活」	【知識・技能】 健康の保持増進について理解している 【思考・判断・表現】 健康の保持増進について思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の保持増進について主体的に学んでいる	○	○	○	5
	定期考査			○	○		
2 学 期	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 薬物や精神疾患への理解 【思考力、判断力、表現力等】 薬物や精神疾患への思考や判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「薬物乱用と健康」 「精神疾患の特徴」 「精神疾患の予防」 「精神疾患からの回復」	【知識・技能】 薬物や精神疾患について理解している 【思考・判断・表現】 薬物や精神疾患について思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 薬物や精神疾患について主体的に学んでいる	○	○	○	6
	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 感染症などへの理解 【思考力、判断力、表現力等】 感染症などへの思考や判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「大気汚染と健康」 「感染症の予防」 「性感染症・エイズとその予防」 「健康に関する意思決定・行動選択」 「健康に関する環境づくり」	【知識・技能】 感染症などについて理解している 【思考・判断・表現】 感染症などについて思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 感染症などについて主体的に学んでいる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		
3 学 期	安全な社会生活 【知識及び技能】 交通や応急手当への理解 【思考力、判断力、表現力等】 交通や応急手当への思考や判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「事故の現状と発生要因」 「安全な社会の形成」 「交通における安全」 「応急手当の意義とその基本」 「日常的な応急手当」 「心肺蘇生法」	【知識・技能】 交通や応急手当について理解している 【思考・判断・表現】 交通や応急手当について思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 交通や応急手当について主体的に学んでいる	○	○	○	6
							合計
	定期考査			○	○		28

